

施策 5-7 地球環境・自然環境の保全

施策の目指す姿

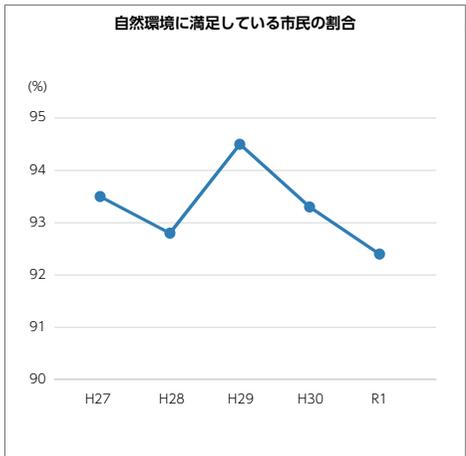
自然を守り、地球にやさしい暮らしや事業を推進しています。

施策の成果指標

指標名	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	説明
自然環境に満足している市民の割合	92.4%	95.0%	まちづくりアンケートで「阿賀野市の自然環境に満足していますか。」の問いに対して、「満足」「やや満足」「ふつう」と回答した市民の割合です。
部門別 CO2 排出量 (家庭系)	70千tCO2	67.1千tCO2	市内の家庭におけるエネルギー消費に伴う年間のCO2排出量の現況を示す数値となります。

施策をとりまく環境変化と課題／施策の基本方針

- 自然環境に満足している市民の割合は9割を超えていますが、市民による地球にやさしい取組は横ばいで推移しています。ごみ分別や節電、地域の清掃活動への関心が高いことから、3Rなど家庭で取り組める活動の情報発信を進めます。
- 令和元年度に光化学オキシダント注意報が1件発令され、不調を訴える市民も出たことから、県と連携して連絡体制の強化を図ります。
- 河川の水質については、国が定める環境基準を満たしていますが、油や汚水等の流出事故が毎年発生していることから、国や県・近隣市町とも連携して早期発見と早期解決に引き続き取り組みます。
- 地球温暖化の防止に向けて、太陽光などの自然エネルギーなどの利用促進に向けた啓発に取り組みます。
- 市の施設における温室効果ガス(CO2)の排出量は目標値以下を維持しています。今後も維持に努めます。



資料：まちづくりアンケート調査

国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標(SDGs)との関連性



基本事業の構成					
基本事業名	目指す姿	指標名	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	
01 自然環境の保全	きれいな大気・水質環境、水辺環境となっています。	大気の基準値を上回った件数	0件	0件	
		河川等の水質基準を上回った件数	0件	0件	
02 地球環境の保全	地球温暖化への対応、再生可能エネルギー等の利用が進んでいます。	再生可能エネルギー発電設備導入件数	586件	786件	
		市の施設における温室効果ガス(CO2) 排出量	9,581tCO2	9,000tCO2	

用語解説	
光化学オキシダント	自動車や工場、事業場などから大気中に排出される窒素酸化物、揮発性有機化合物などが、太陽からの紫外線を受け化学反応を起こして作り出される物質の総称。目やのどの粘膜などを刺激し、健康被害が発生することがある。濃度が高くなり、空が白く「もや」がかかったような状態を「光化学スモッグ」と呼ぶ。
再生可能エネルギー	自然の営みから半永久的に得られ、継続して利用でき、地球環境への負荷が少ないエネルギー（中小水力・地熱・太陽光・太陽熱・風力・バイオマス等）